

協働の森パートナーズ協定

ツムラ薬草採取体験

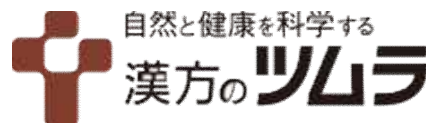
人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030101/kyoudounomori.html>

協定企業：株式会社ツムラ様
開催場所：駄馬薬草園（越知町大字越知字ダバ）
開催日：令和4年10月14日（金）
参加者数：77名

（(株)ツムラ3名、農事組合法人ヒューマンライフ土佐10名、越知中学校55名、越知町7名、高知県2名）



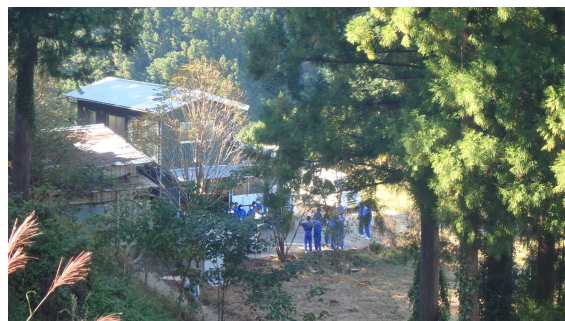
(株)ツムラ 鈴木氏

まさに秋晴れという雲ひとつない青空の下、交流活動が開催されました。会場は、協定のパートナーでもある農事組合法人ヒューマンライフ土佐の駄馬薬草園です。ここでの採取体験は、なんと3年振り。午前中に越知中学校の1年生、午後に3年生が体験しました。

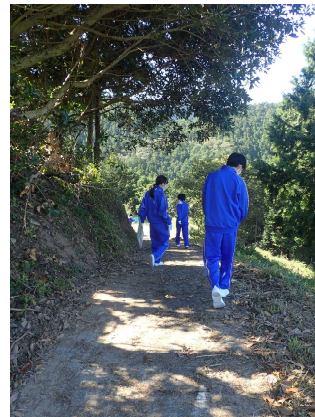
開会式では、株式会社ツムラの鈴木京子氏からもご挨拶いただきました。鈴木氏は、コロナの流行によりなかなか来高が合わず、「やっと来られました！」と笑顔でお話してくださいました。



ウルシやハゼ等の触ってはいけない植物についての注意を受けた後、薬草園内を班ごとにまわります。資料と照らし合わせながら、お目当ての植物を探します。どの班にも植物に強い人材がいるようで、着々と薬草を採取していました。



準備完了！いざ、出発です！



薬草園内をあちらこちら。ときに相談し合いながら、順調に薬草を集めています。



採取の終わった班ごとに、集めた薬草が資料と一致しているか、薬草の種類の判別はできているのかの確認作業です。びっくりするほど、スラスラと回答している生徒さんもおられました。全ての班の確認作業が終了したら、順位発表と表彰です。1位の班のみなさんに送られた記念品は、何やら立派な袋に入っていました！何が入っていたのでしょうか？

薬草の知識は、あれば役に立つ知識のひとつです。今回の交流活動をきっかけに、ひとつでもふたつでも増やせるといいですね。

また来年もお待ちしています！

人が森を助ける。
森が人を助ける。



Collaborative Forest Restoration with
Environmentally Progressive Companies.